

<平成24年3月期決算参考資料>(連結)

	前期実績 平成23年3月期	当期実績 平成24年3月期 平成24年2月予想	次期予想 平成25年3月期
売上高	18,285 億円	18,073 億円 18,200	19,800 億円
営業利益	403 億円	637 億円 500	700 億円
<利益率>	< 2.2% >	< 3.5% >	< 3.5% >
		(増益要因) 台数・車種構成等 168億円 資材費等コスト低減 272億円 販売費用 5億円 (減益要因) 為替 ▲105億円 その他 ▲106億円 対前年 変動計 234億円	(増益要因) 台数・車種構成等 430億円 資材費等コスト低減 220億円 (減益要因) 為替 ▲220億円 販売費用 ▲150億円 その他 ▲217億円 対前年 変動計 63億円
経常利益	389 億円	609 億円 400	520 億円
<利益率>	< 2.1% >	< 3.4% >	< 2.6% >
当期純利益	156 億円	239 億円 200	250 億円
<利益率>	< 0.9% >	< 1.3% >	< 1.3% >
為替 (売上レート)	85 円/US\$ 113 円/1-0	79 円/US\$ 111 円/1-0	78 円/US\$程度 103 円/1-0程度
設備投資 (計上ベース)	525 億円	710 億円	1,090 億円
減価償却費	627 億円	534 億円	670 億円
研究開発費	494 億円	550 億円	690 億円
有利子負債残高	3,979 億円	3,481 億円	
総資産	13,125 億円	13,213 億円	
売上台数*	旧カウント 1,045 1,098 千台	1,072 千台	1,208 千台
国内	166 199 千台	184 千台	203 千台
海外	879 899 千台	888 千台	1,005 千台
生産台数	1,186 千台	1,129 千台	
国内	663 千台	586 千台	
海外	523 千台	543 千台	
業績評価		減収・増益	増収・増益

*平成24年3月期より新カウントを採用し、新カウントの売上台数にはOEM供給台数を含む。

〈平成24年3月期決算参考資料〉（単独）

	前 期 実 績 平成23年3月期	当 期 実 績 平成24年3月期
売 上 高	14,722 億円	14,276 億円
国 内	2,685 億円	2,528 億円
輸 出	12,037 億円	11,748 億円
営 業 利 益	▲79 億円	151 億円
〈 利 益 率 〉	〈 - 〉	〈 1.1% 〉
		(増 益 要 因) 台数・車種構成等 138億円 資材費等コスト低減 239億円 (減 益 要 因) 為 替 ▲124億円 そ の 他 ▲23億円 対 前 年 変 動 計 230億円
経 常 利 益	▲29 億円	196 億円
〈 利 益 率 〉	〈 - 〉	〈 1.4% 〉
当 期 純 利 益	▲56 億円	209 億円
〈 利 益 率 〉	〈 - 〉	〈 1.5% 〉
設 備 投 資 (計上ベース)	394 億円	246 億円
減 価 償 却 費	423 億円	356 億円
研 究 開 発 費	457 億円	509 億円
有 利 子 負 債 残 高	2,522 億円	2,110 億円
売 上 台 数*	旧カウント 842 876 千台	790 千台
国 内	166 200 千台	185 千台
海 外	676 676 千台	605 千台
業 績 評 価		・ 減収・増益 ・ 営業利益、経常利益、当期純利益 とともに黒字化。

*平成24年3月期より新カウントを採用し、新カウントの売上台数には国内向けOEM供給台数を含む。
(海外向けOEM台数は旧カウントに於いても売上台数に含む。)

三菱自動車、2011年度決算及び2012年度通期業績見通しを発表

三菱自動車は本日、2011年度(2012年3月期)決算及び2012年度通期の業績見通しを発表しました。

1. 2011年度決算

(1)業績概況

2011年度(2011年4月1日～2012年3月31日)の売上高は、卸売台数の減少や円高の影響を受け、前年度比212億円(1%)減の1兆8,073億円となりました。

営業利益は、円高等のマイナス影響はあったものの、車種構成等の改善や、資材費等コスト低減などが寄与し、前年度比234億円(58%)増の637億円となりました。

経常利益は前年度比220億円(56%)増の609億円、また当期利益については前年度比83億円(53%)増となる239億円となりました。

(2)販売台数

2011年度の販売台数は、前年度比14千台(1%)増の1,001千台となりました。

日本では、エコカー補助金再開の効果などもあり登録車は前年を上回ったものの、軽自動車が増えず、前年度比12千台(7%)減の152千台となりました。

北米は、『アウトランダースポーツ』(日本名:『RVR』)の好調などにより米国の販売が増加したことで、前年度比12千台(13%)増の106千台となりました。

欧州は、需要の減速が見られる西欧地域での販売は前年を下回ったものの、市場の回復が続くロシアで大きく販売を伸ばし、地域全体としては前年度並みの218千台となりました。

アジア及びその他の地域については、タイやインドネシア等のアセアン地域やブラジルをはじめとする中南米地域の好調に支えられ、前年同期比14千台(3%)増の525千台となりました。

2. 2012年度業績見通し

(1)販売台数計画

2012年度の販売台数は、アセアン地域やロシアをはじめとする新興市場で引き続き安定的な伸長が見込まれることに加え、世界各地域にて順次展開を開始する新型車(新型『ミラージュ』、及び、新型『アウトランダー』)の投入効果も期待できることから、前年度比87千台(9%)増となる1,088千台を計画しています。地域別の内訳は次のとおりです。

- ・ 日本: 167千台、前年度比15千台(10%)増
- ・ 北米: 93千台、前年度比13千台(13%)減
- ・ 欧州: 221千台、前年度比3千台(1%)増
- ・ アジア及びその他の地域: 607千台、前年度比82千台(15%)増

(2)業績見通し

2012年度は、円高や原油高等の外的な減益要因に加え、将来の成長に向けた開発費等のコスト増加も見込まれますが、新型車投入や、アセアン地域等好調な新興市場の強化などにより着実に販売台数増加を実現し増収を図るとともに、引き続き費用削減や資材費等のコスト低減を推し進めることなどで利益の上積みを図り、以下のとおり、対前年度で増収・増益を目指します。

- ・ 売上高：1兆9,800億円、前年度比1,727億円(10%)増
- ・ 営業利益：700億円、前年度比63億円(10%)増
- ・ 経常利益：520億円、前年度比89億円(15%)減
- ・ 当期利益：250億円、前年度比11億円(5%)増

以上

【お問い合わせ先】

広報部 企業広報担当：地引、村田
企業広報代表 03-6852-4274

本資料に記載されている将来に関する記述を含む歴史的事実以外のすべての記述は、現時点における当社の予測、期待、目標、想定、計画、評価等を基礎として記載されているものです。また、予想数値を算定するために、一定の前提(仮定)を用いています。これらの記述または前提(仮定)については、その性質上、客観的に正確であるという保証や将来その通りに実現するという保証はありません。これらの記述または前提(仮定)が、客観的には不正確であったり、将来実現しない原因となるリスク要因や不確定要因のうち、現在想定しうる主要なものとしては、本計画の各種目標・各種施策の実現可能性、金利・為替・原油価格の変動可能性、関係法令・規則の変更可能性、日本国内外の経済・社会情勢の変化可能性等があげられます。

なお、潜在的リスクや不確定要因はこれらに限られるものではありませんので、ご注意ください。また、当社は、将来生じた事象を反映するために、本資料に記載された情報を更新する義務を負っておりません。投資に関する最終的な決定は、投資家の皆様ご自身の責任をもってご判断ください。本資料に記載されている情報に基づき投資された結果、何らかの損害が発生した場合でも、当社は責任を負いかねますので、ご了承ください。

2011年度 決算説明会

MIRAGE



新型グローバルコンパクトカー「ミラージュ」

三菱自動車工業株式会社

2012年4月26日

2011年度決算 及び 2012年度 通期業績見通し



青 砥 修 一

常務取締役 (CSR・管理・経理統括部門担当)

円高進行・タイ洪水影響など厳しい事業環境ながら増益

(単位: 億円, 千台)

	FY10 実績	FY11 実績	差	FY11計画 '12/2/2 公表値
売上高	18,285	18,073	-212	18,200
営業利益	403	637	+234	500
経常利益	389	609	+220	400
当期利益	156	239	+83	200
販売台数(小売)	987	1,001	+14	1,013
販売台数(卸売)	1,098	1,072	-26	1,080
うち OEM台数等	(72)	(87)	(+15)	(87)

注) 販売台数は11年度から新カウント方式採用、10年度実績も新カウントへ置き換え済み。(添付資料ご参照) 11年度販売台数実績は速報値。

安定的に利益を積み上げ、期初公表の利益目標を達成

(単位: 億円, 千台)

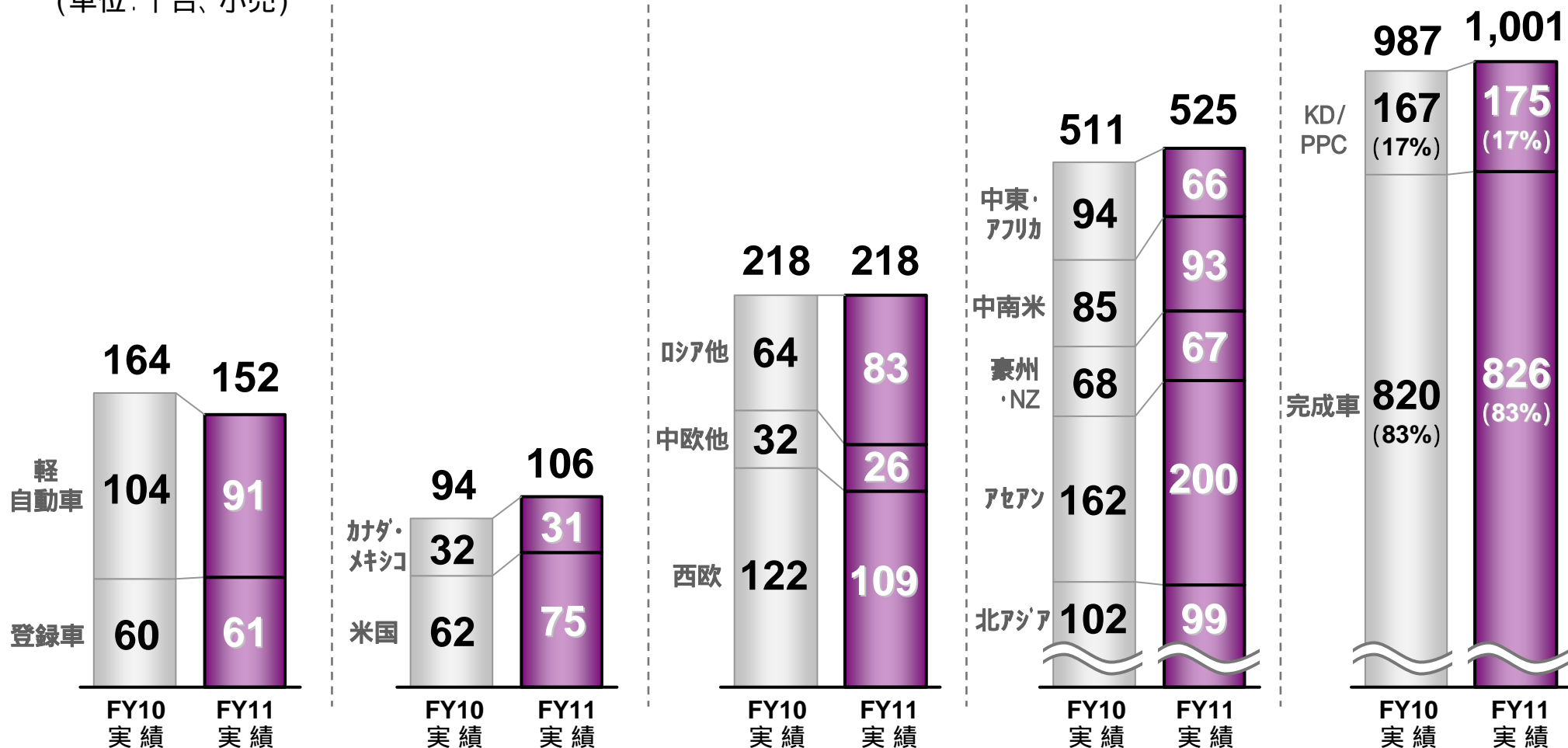
	FY11 1Q ('11/ 4-6)	FY11 2Q ('11/ 7-9)	FY11 3Q ('11/10-12)	FY11 4Q ('12/1-3)	FY11 通期 ('11/4-'12/3)
売上高	4,319	4,756	3,856	5,142	18,073
営業利益	122	220	43	252	637
経常利益	103	130	56	320	609
当期利益	43	63	30	103	239
販売台数(小売)	267	252	236	246	1,001
販売台数(卸売)	252	278	239	303	1,072
うち OEM台数等	(20)	(16)	(23)	(28)	(87)
為替レート	実績	実績	実績	計画	実績
米ドル	82	79	78	76	79
ユーロ	118	113	106	98	104
豪ドル	88	84	79	78	83

注) 販売台数は11年度から新カウント方式採用、10年度実績も新カウントへ置き換え済み。(添付資料ご参照) 11年度販売台数実績は速報値。

2011年度地域別販売台数実績【前年度対比】

日本	北米	欧州	アジア・その他地域	合計
《前年度実績対比増減》				
- 12 (- 7%)	+ 12 (+ 13%)	± 0 (-)	+ 14 (+ 3%)	+ 14 (+ 1%)

(単位:千台、小売)



注) 販売台数は11年度から新カウント方式採用、10年度実績も新カウントへ置き換え済み。(添付資料ご参照) 11年度販売台数実績は速報値。

2011年度営業利益増減分析【前年度対比】

(単位: 億円)

FY10
実績



FY11
実績

地域別

日本:	- 21
北米:	+18
欧州:	+132
アジア・その他:	+39



台数・車種
構成等

+ 5
販売費



為替

売上レート (単位: 円)

	FY10	FY11
米ドル	85	79
ユーロ	113	111
豪ドル	81	83
タイバーツ	2.75	2.59



資材費等
コスト低減



その他

その他の主な内訳

・開発費	- 56
・間接員労務費他	- 50



經常利益・当期利益 【前年度対比】

(単位：億円)

	FY10 実績	FY11 実績	差 -
営業利益	403	637	+234
営業外損益	- 14	- 28	- 14
經常利益	389	609	+220
特別損益 及び法人税等	- 233	- 370	- 137
当期利益	156	239	+83

貸借対照表【前年度末対比】

(単位: 億円)

	FY10末 ('11/ 3月末)	FY11末 ('12/ 3月末)	増 減
資 産 合 計	13,125	13,213	+ 88
うち 現金預金	3,171	3,116	- 55
売上債権	1,144	1,462	+ 318
たな卸資産	1,893	1,875	- 18
有形固定資産	3,836	3,767	- 69
負 債 合 計	10,644	10,557	- 87
うち 仕入債務	2,786	3,174	+ 388
有利子負債	3,979	3,481	- 498
純資産合計	2,481	2,656	+ 175

2012年度 地域別販売台数計画【上期/下期別、前年度対比】

日本	北米	欧州	アジア・その他地域	合計
----	----	----	-----------	----

《前年度実績対比増減》

+ 15
(+ 10%)

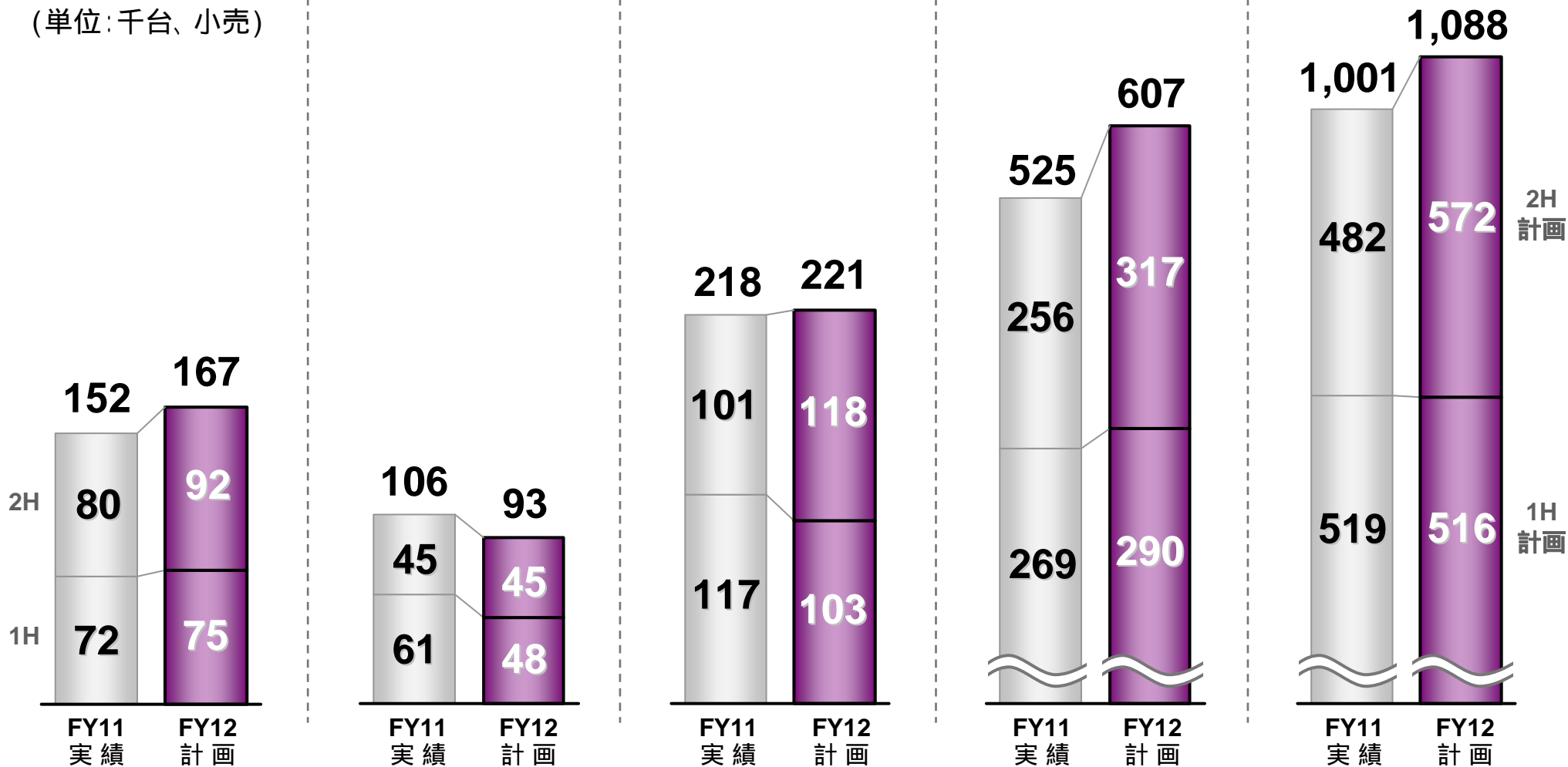
- 13
(- 13%)

+ 3
(+ 1%)

+ 82
(+ 15%)

+ 87
(+ 9%)

(単位:千台、小売)



注) 11年度販売台数実績は速報値。

前年度比、増収、増益を目指す

(単位：億円, 千台)

	FY11 実績	FY12 見通し	差
売上高	18,073	19,800	+1,727
営業利益	637	700	+63
経常利益	609	520	- 89
当期利益	239	250	+11
販売台数(小売)	1,001	1,088	+87
販売台数(卸売)	1,072	1,208	+136
うち OEM台数等	(87)	(104)	(+17)
為替レート	実績	計画	
米ドル	79	78	
ユーロ	111	103	
豪ドル	83	82	
タイヤーツ	2.59	2.75	

注) 11年度販売台数実績は速報値。

2012年度営業利益見通し増減分析 【前年度対比】

(単位: 億円)

**FY11
実績**



**FY12
計画**

地域別	
日本:	+80
北米:	+20
欧州:	+30
アジア:	+300
その他:	



販売費



為替



資材費等
コスト低減



その他

台数・車種
構成等



売上レート (単位:円)		
	FY11	FY12
米ドル	79	78
ユーロ	111	103
豪ドル	83	82
タイバーツ	2.59	2.75

その他の主な内訳	
・開発費	-140
・間接員労務費他	-77



Concept **PX-MiEV II**



プラグインハイブリッド車 『MITSUBISHI Concept PX - MiEV 』

2012年度の取り組み



新型グローバルコンパクトカー「ミラージュ」

益子 修

取締役社長

2011年度

- ・『厳しい年』であったが、多くの困難を乗り越え利益目標をオーバー達成
- ・タイで新型「ミラージュ」の立ち上げ準備、欧州での生産終了決定など選択と集中を強化

2012年度

- ・収益拡大のための種蒔きの年
- ・『成長と飛躍』に向けた環境・新興国対応プロジェクトを推進

商品開発： 「ミラージュ」「アウトランダー」「PHEV」など
新型車投入・展開

生産： タイ・中国・ロシアなど新興国での現地生産拡大

販売： 「アセアンチャレンジ12」の推進

- ・「ジャンプ2013」最終年度の業績目標達成を目指す

2012年度 新型車の投入・展開で新興市場と環境対応を加速

- 新型『ミラージュ』のグローバル展開
- 新型『アウトランダー』の投入
- 新型『アウトランダー』ベースのPHEV投入
- 軽トラックEVの投入

MIRAGE



新型『ミラージュ』

新型『アウトランダー』



Concept PHEV II



軽トラックEV



市場動向の変化に対応し、電動システム搭載車の投入最適化

- ・ 電動システムの技術基盤構築
EV技術を活用したPHEV・HEV技術を確立し、電動システムの選択肢を拡大
- ・ 市場動向の変化
成熟市場：欧州債務危機などで低迷、低価格志向の高まり
新興市場：アセアンなど堅調に拡大し、更に重要度が高まる
- ・ 航続距離、価格受容性、インフラなどを総合的に判断し、最適システムを選択

セグメント	軽・コンパクト	小型セダン	SUV
電動システム	EV	HEV	PHEV

- ・ 2014年度から2016年度の3年間で電動システム搭載車を7車種投入

FY2011-13 「ジャンプ2013」

 軽商用EV 『MINICAB-MiEV』 2011年12月投入済	 PHEV	 軽トラックEV
---	---	---

FY2014-16

電動システム搭載車
(EV・PHEV・HEV)

7車種投入

新興国：生産能力の増強



- ・タイ：第3工場 4月竣工、『ミラージュ』を世界へ供給する体制を確立
第1工場、第2工場 『トライトン』、『パジェロスポーツ』の
生産能力増強（完了）
- ・インドネシア：新工場で『アウトランダースポーツ』の現地生産を開始（7月）
- ・ロシア：ロシア向け新型『アウトランダー』の現地生産立ち上げ（11月）
- ・中国：広州汽車との新合併会社の設立
50%出資の合併会社で新モデルの現地生産立ち上げ（10月）
- ・インド：『パジェロスポーツ』の現地生産立ち上げ（9月）

先進国：生産能力の適正化

- ・ 日本：円高環境下での生産台数に見合った効率的な工場設備の活用
岡崎工場で新型『アウトランダー』の生産開始(5月)
- ・ 米国：『アウトランダースポーツ』の現地生産を開始(7月)
輸出仕向先拡大
- ・ オランダ：NedCarでの三菱車の生産を2012年末で終了
新たな生産モデルは投入しない

2012年度 海外生産台数の増加による海外生産比率上昇

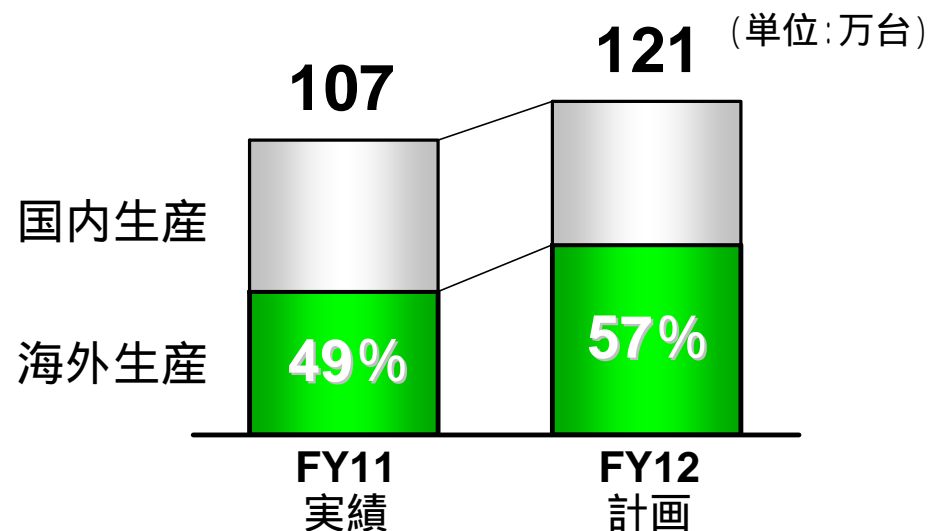
2011年度(実績)

49%



2012年度(計画)

57%



アフターセールス事業の拡大とサービス品質向上

- ・ グローバル・アフターセールス部門を「アフターセールス本部」と「サービス本部」の2本部制へ改編(4月)
機動力を高め、事業拡大とサービス品質の向上を図る

グローバルベースでの物流改革を推進

- ・ 海外営業担当副社長をトップに「物流改革統括室」を新設(4月)
三菱自動車グループでの全体最適を図る体制を確立

2012年度地域別販売台数計画【前年度対比】

日本	北米	欧州	アジア・その他地域	合計
----	----	----	-----------	----

《前年度実績対比増減》

+ 15
(+ 10%)

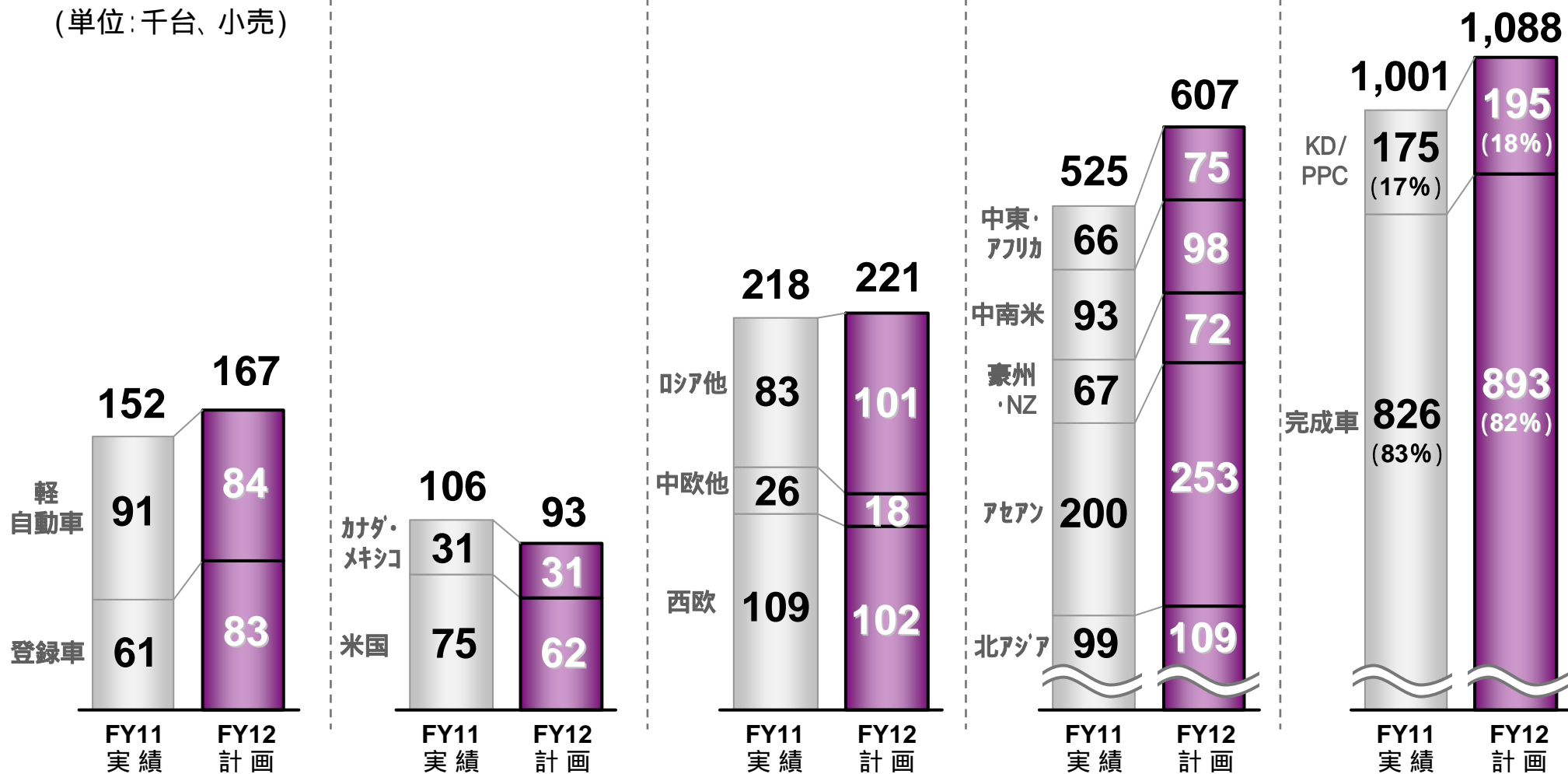
- 13
(- 13%)

+ 3
(+ 1%)

+ 82
(+ 15%)

+ 87
(+ 9%)

(単位:千台、小売)



注) 11年度販売台数実績は速報値。

3月に販売を開始したタイで好調な立ち上がり

■ 『ミラージュ』のコンセプト

- ・ 「小型」「低価格」「低燃費」の世界戦略車
- ・ 需要の伸長が見込まれる新興国、
ダウンサイジング化が進む先進国双方へ投入
- ・ 三菱モデルラインナップのエントリーモデル
大人5人の居住空間を確保したスモールカー
- ・ 新開発1.0 & 1.2 3気筒エンジン +
可変バルブタイミング機構 (MIVEC ¹)
アイドルストップシステム (AS&G ²)
減速エネルギー回生システム
空気の抵抗低減と車体の軽量化

■ 生産工場

- ・ タイ MMTh社 第3工場
- ・ 4月から本格量産開始

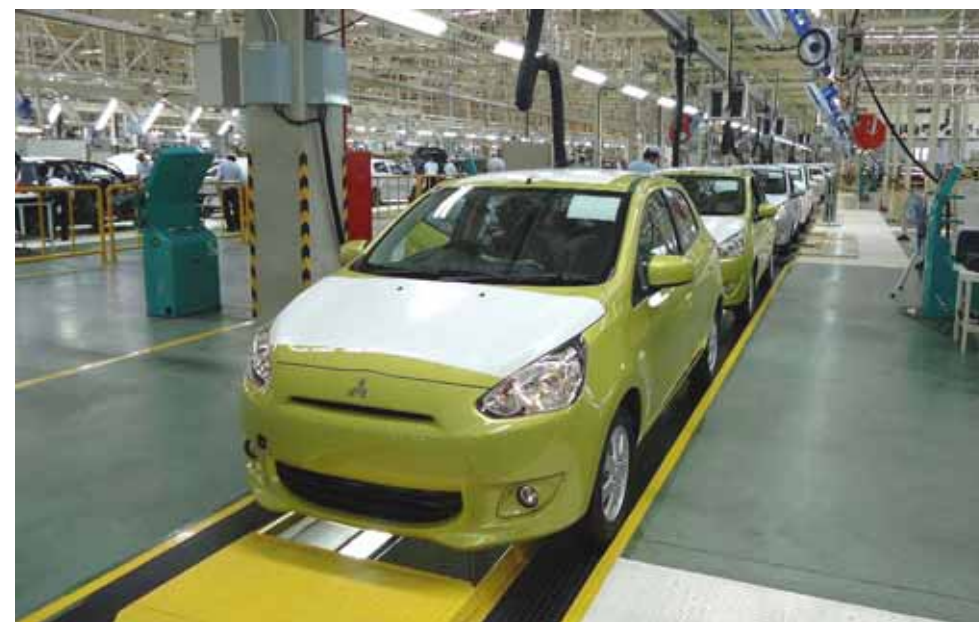
¹ MIVEC : Mitsubishi Innovative Valve timing Electronic Control system

² AS&G : Auto Stop & Go

MIRAGE

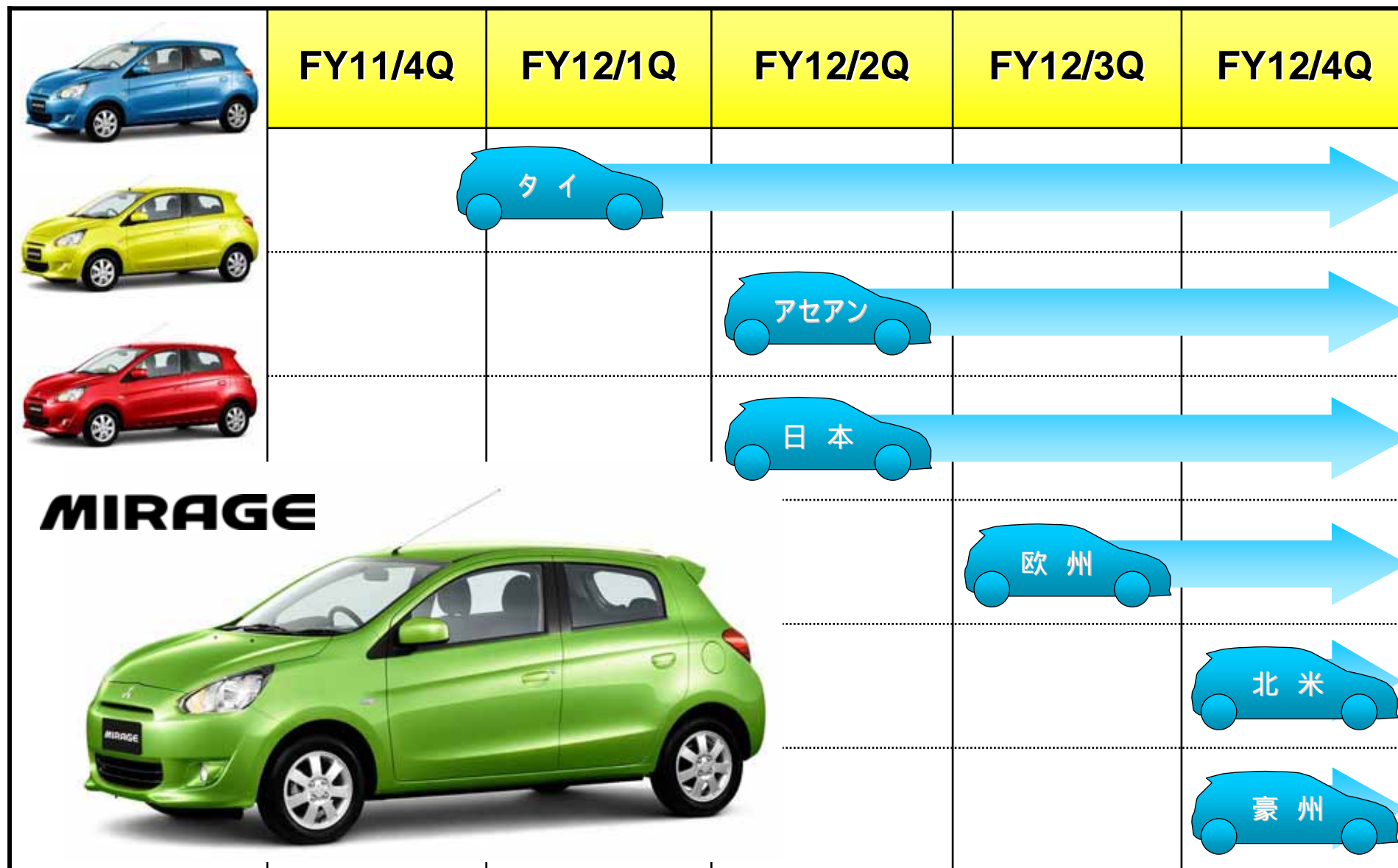


“世界戦略車”『MIRAGE (ミラージュ)』

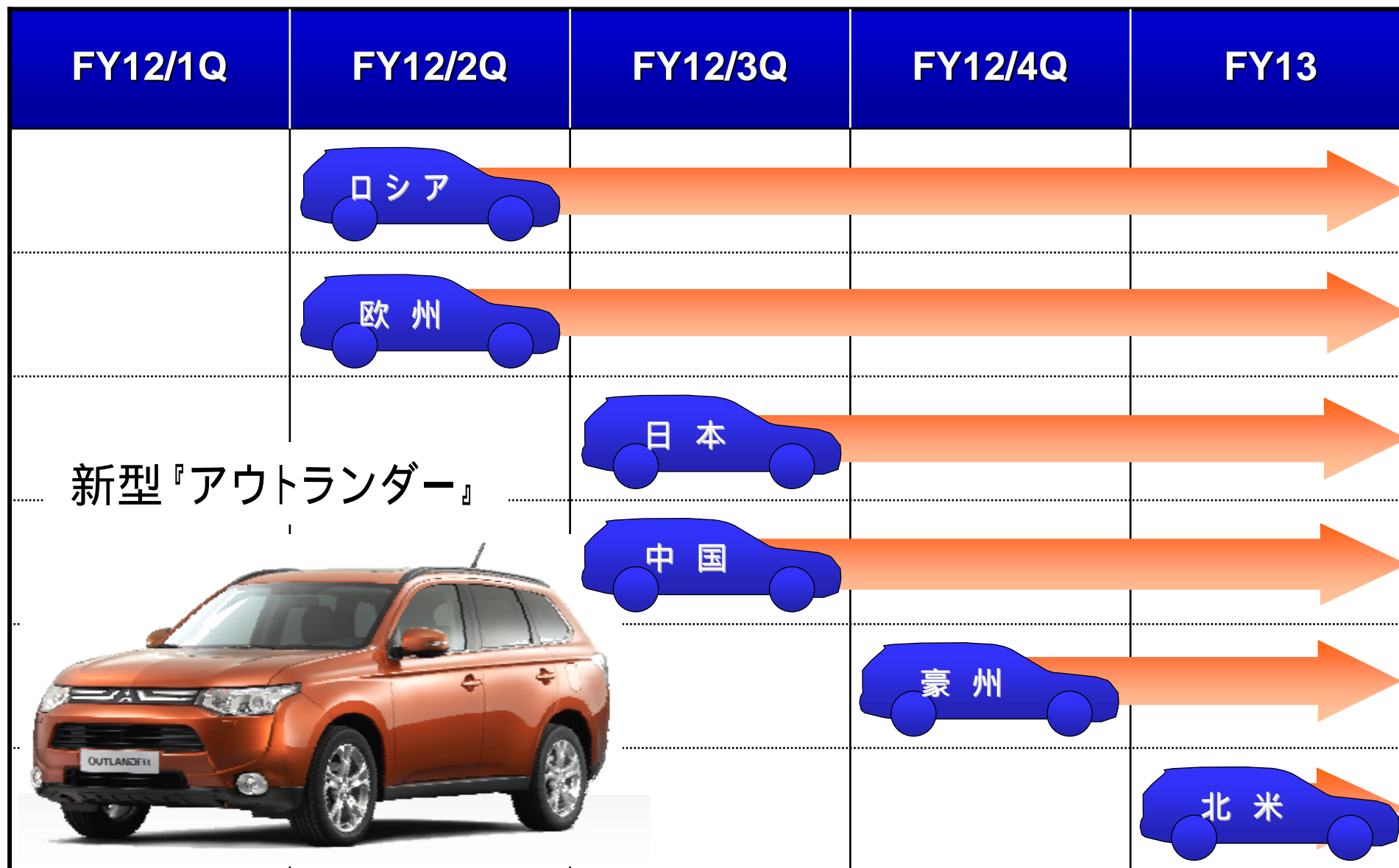


MMTh社 第3工場 『ミラージュ』生産ライン

新型『ミラージュ』のグローバル展開



新型『アウトランダー』のグローバル展開



■ 2011年度実績

円高進行・タイ洪水影響など厳しい事業環境ながら増益

- 販売台数(小売) 1,001千台 前年度比 1%増加 (アセアン、北米、中南米で増加)
- 販売台数(卸売) 1,072千台 前年度比 1%減少 (アセアン等で増加も、中東アフリカ、欧州で減少)
- 売上高 18,073億円 前年度比 1%減収
- 損益 営業利益 637億円 前年度比 58%、234億円増益
(円高影響などを台数・車種構成等改善、コスト低減効果などで打ち返す)
当期利益 239億円 前年度比 53%、83億円増益

■ 2012年度通期見通し

新型車のグローバル展開で、販売台数増、増収、増益を目指す

- 販売台数(小売) 1,088千台 前年度比 9%増加 (日本、欧州、アジア他で前年度を上回る)
- 販売台数(卸売) 1,208千台 前年度比 13%増加 (日本、欧州、アジア他で前年度を上回る)
- 売上高 19,800億円 前年同期比 10%増収
- 営業利益 700億円 前年度比 10%増益 当期利益 250億円 前年度比 5%増益

■ 2013年度(中期経営計画最終年度)業績目標

為替は円高水準ながら、構造改革を加速させ目標は変更せず

添付資料



新型「アウトランダー」

変更内容

■ 新カウント(2011年度から)

・小売台数：自社ブランド車のみを小売台数とする。

「ロシア・ウクライナ」を「ロシア他(ロシア・ウクライナ・カザフスタン)」へ変更。

・卸売台数：卸売台数にOEM供給台数を含める。

■ 旧カウント(2010年度以前)

・小売台数：当社が設計した商品で、ロイヤリティ収入がある場合は
他社ブランドも小売台数に含める。

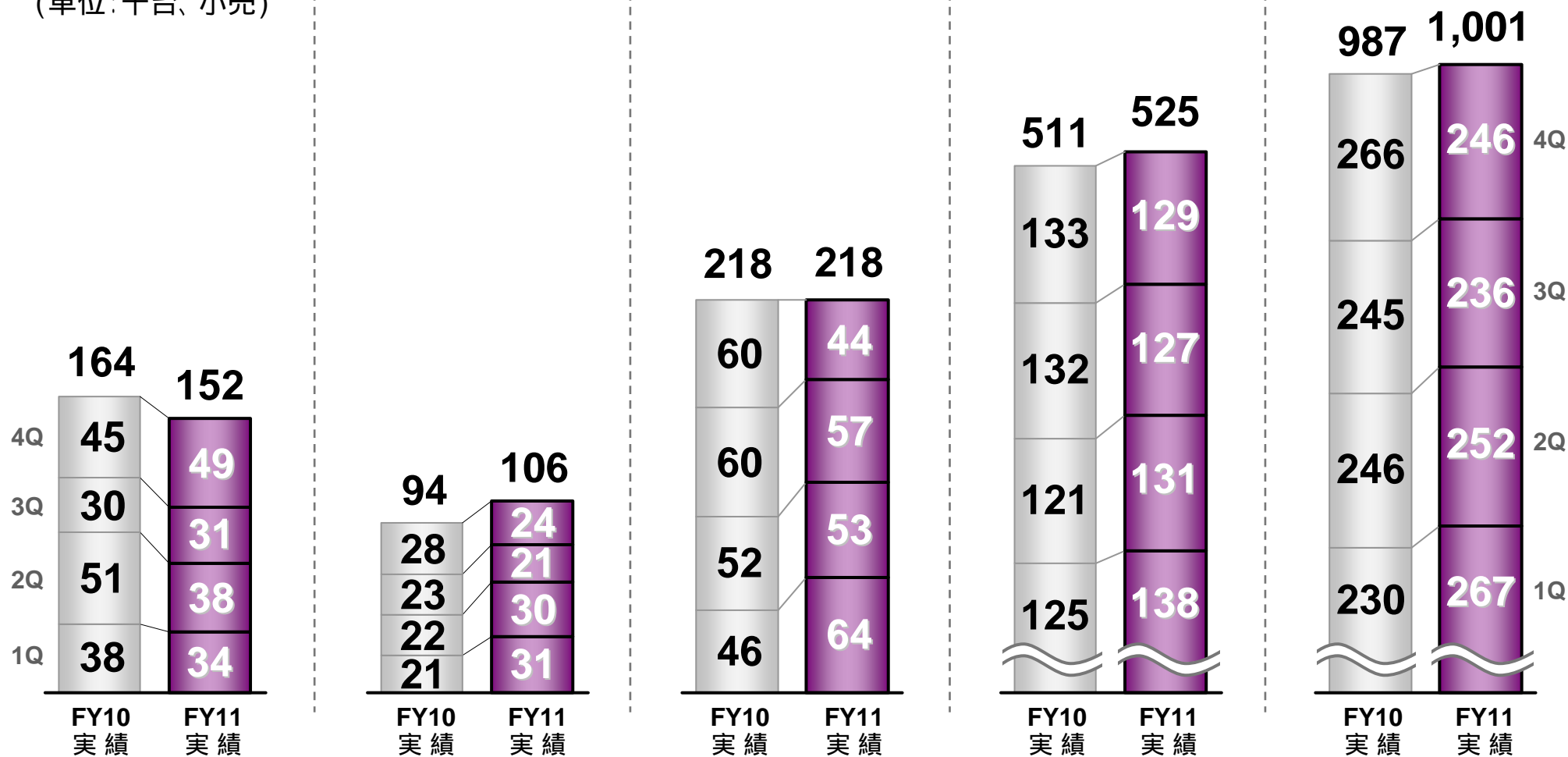
・卸売台数：OEM供給台数を除く。

FY2010(実績)	<u>旧カウント</u>		<u>増減台数</u>		<u>新カウント</u>
小売台数	1,105千台	-	118千台	=	987千台
卸売台数	1,045千台	+	53千台	=	1,098千台

2011年度 地域別販売台数実績【四半期別、前年同期対比】

日本	北米	欧州	アジア・その他地域	合計
《前年度実績対比増減》				
- 12 (- 7%)	+ 12 (+ 13%)	± 0 (-)	+ 14 (+ 3%)	+ 14 (+ 1%)

(単位:千台、小売)



注) 販売台数は11年度から新カウント方式採用、10年度実績も新カウントへ置き換え済み。(添付資料ご参照) 11年度販売台数実績は速報値。

2011年度 地域別業績【前年度対比】

(単位: 億円)

【参考】
FY11 計画
2/2公表値

	FY10 実績	FY11 実績	増減 -	
売上高	18,285	18,073	-212	18,200
- 日本	3,633	3,571	-62	3,700
- 北米	1,898	1,952	+54	1,800
- 欧州	4,900	4,748	-152	4,600
- アジア・ その他	7,854	7,802	-52	8,100
営業利益	403	637	+234	500
- 日本	51	68	+17	50
- 北米	-279	-262	+17	-290
- 欧州	-264	-156	+108	-220
- アジア・ その他	895	987	+92	960

2011年度 地域別販売台数【2/2計画対比】

日本	北米	欧州	アジア・その他地域	合計
----	----	----	-----------	----

《2/2公表値対比増減》

- 2
(- 2%)

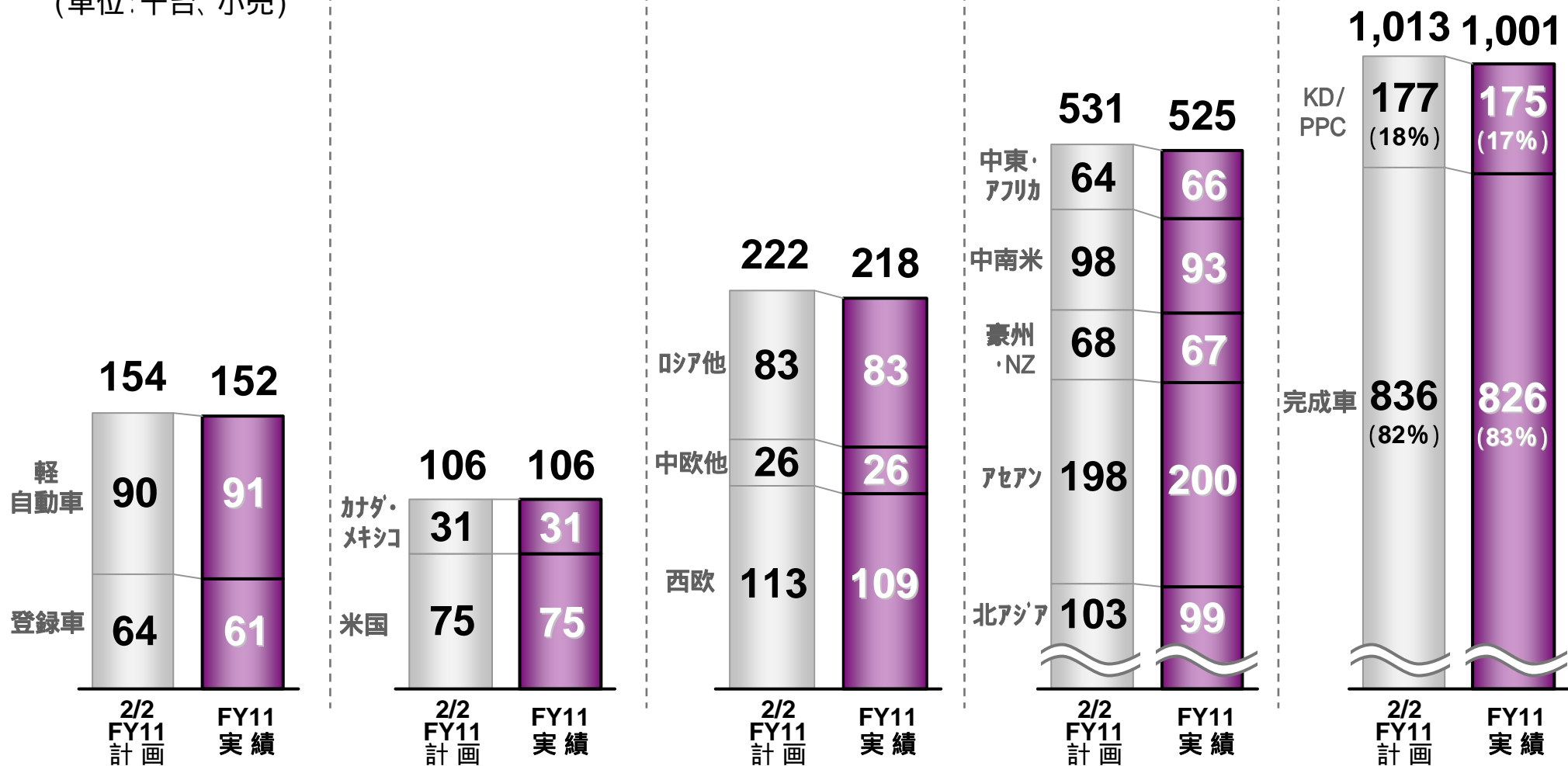
± 0
(-)

- 4
(- 2%)

- 6
(- 1%)

- 12
(- 1%)

(単位:千台、小売)



注) 11年度販売台数実績は速報値。

2011年度業績サマリー【2/2計画対比】

(単位: 億円, 千台)

	FY11 2/2公表値	FY11 実績	増減
売上高	18,200	18,073	- 127
営業利益	500	637	+137
経常利益	400	609	+209
当期利益	200	239	+39
販売台数(小売)	1,013	1,001	- 12
販売台数(卸売)	1,080	1,072	- 8
うち OEM台数等	(87)	(87)	(± 0)

主な増減内訳

- ・台数・車種構成等・販売費 - 37
- ・為替 +41
- ・開発費他 +133

注) 11年度販売台数実績は速報値。

2012年度業績見通しサマリー【11年度/12年度、上期/下期別】

(単位: 億円, 千台)

	FY2011			FY2012		
	上期実績	下期実績	通期実績	上期計画	下期計画	通期計画
売上高	9,075	8,998	18,073	9,200	10,600	19,800
営業利益	342	295	637	220	480	700
経常利益	233	376	609	180	340	520
当期利益	106	133	239	90	160	250
販売台数(小売)	519	482	1,001	516	572	1,088
販売台数(卸売)	530	542	1,072	564	644	1,208
うち OEM台数等	(36)	(51)	(87)	(47)	(57)	(104)

注) 11年度販売台数実績は速報値。

2012年度 地域別業績見通し【前年度対比】

(単位: 億円)

	FY11 実績	FY12 見通し	増減 -
売上高	18,073	19,800	+1,727
- 日本	3,571	4,000	+429
- 北米	1,952	1,700	-252
- 欧州	4,748	4,700	-48
- アジア・ その他	7,802	9,400	+1,598
営業利益	637	700	+63
- 日本	68	80	+12
- 北米	-262	-280	-18
- 欧州	-156	-270	-114
- アジア・ その他	987	1,170	+183

■ 日本

- ・ 新型車投入による販売拡大
 新型『ミラージュ』、新型『アウトランダー』の投入
- ・ 電動システム搭載車のラインナップ強化
- ・ 三菱愛着プロジェクト活動強化による安定的黒字体質の確保
- ・ 円高環境下での生産台数に見合った効率的な工場設備の活用

■ 米国

- ・ 7月、米国工場での『アウトランダースポーツ』の
 現地生産立ち上げ、販売拡大と輸出仕向先拡大



米国『アウトランダースポーツ』

■ 欧州

- ・ 2012年末をもってオランダ工場での車両生産を終了
- ・ 新型『アウトランダー』の販売を開始
- ・ 新型『ミラージュ』の販売を開始
- ・ ロシア工場での新型『アウトランダー』現地生産立ち上げ（11月）

■ 中国

- ・ 広州汽車との新合弁会社設立
50%出資の合弁会社で新生産モデルを投入し
能力増強を図る

■ タイ

- ・ 新型『ミラージュ』の円滑な生産立ち上げと販売・生産拡大
- ・ 主力車種『トライトン』『パジェロスポーツ』の販売・生産拡大



パジェロ スポーツ

■ アセアン

- ・ 4月以降、新型『ミラージュ』の販売を順次開始
- ・ インドネシア、マレーシアでコンパクトSUV(日本名:『RVR』)
の現地生産開始



コンパクトSUV
(日本名; RVR)

■ ブラジル

- ・ 新車投入などの現地パートナーとの協力関係強化の検討継続
- ・ 完成輸入車に課せられる工業製品税(+30%)の期間延長
に対応し、現地生産車種の拡大検討

■ 新型『アウトランダー』のコンセプト

- ・ クラストップレベルの低燃費、低CO2を実現する優れた環境性能
新開発の可変動弁機構を採用した新型MIVEC¹エンジン
自社開発クリーンディーゼルエンジン
アイドルストップシステム (AS&G²)
エコ運転支援システム
- ・ 先進安全技術の採用による高い安全性能
追従機能付きクルーズコントロール
車線逸脱警報など
- ・ 上質で使い勝手の良いインテリア

■ 生産工場

- ・ 岡崎工場、ロシアでの現地生産

■ 販売開始

- ・ 今夏よりロシアをはじめ、欧州、日本など世界各市場へ展開
- ・ 2012年度中には当社が独自に新開発しているプラグインハイブリッドシステムを搭載したモデルを追加投入予定



新型『アウトランダー』

¹ MIVEC : Mitsubishi Innovative Valve timing Electronic Control system

² AS&G : Auto Stop & Go

Concept PX-MiEV II



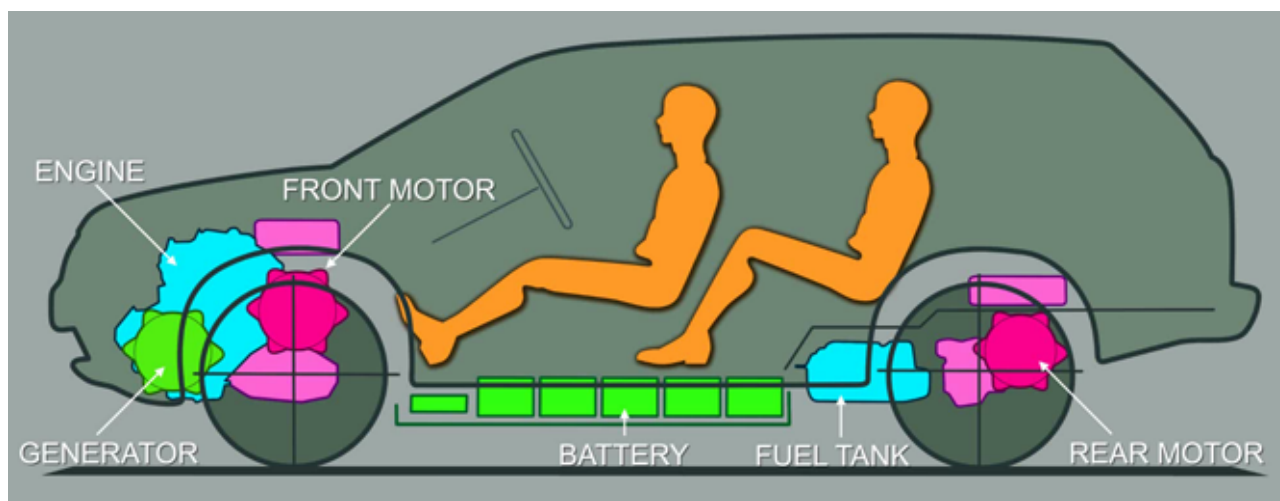
2011年東京モーターショー出品PHEV
『MITSUBISHI Concept PX - MiEV 』

三菱プラグインハイブリッドEVシステム



※State of Charge





- ・目標EV走行距離 : 50km 以上
- ・目標航続可能距離 : 800km 以上
- ・目標複合燃料消費率 : 60km/L 以上



システム構成

1. EVコンポーネント
 - ・駆動用バッテリー
 - ・前後のモーター
 - ・前後のインバーター
2. エンジン・燃料タンク
3. ジェネレーター

電動システム搭載車の展開拡大

	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度
日本	<ul style="list-style-type: none"> ・ フリート販売 09年7月～  <p>「i-MiEV」</p> <p>販売実績：1.4千台</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一般販売 10年4月～  <p>「MINICAB-MiEV」</p> <p>販売実績：2.6千台</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「M」「G」の2グレード展開 11年7月～  <p>「Concept PX-MiEV II」</p> <p>販売実績：5千台</p>	<ul style="list-style-type: none"> 11年12月～ 軽商用電気自動車 軽トラックEV PHEV
	海外	<ul style="list-style-type: none"> ・ 右ハンドル車 (香港、イギリス他) 09年秋～  <p>欧州向け「i-MiEV」</p> <p>販売実績：0.2千台</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 欧州 (左ハンドル市場含む)/PSAプジョー・シトロエン社向け 10年10月～ <p>販売実績：5.6千台</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 北米 11年11月～ <p>販売実績：11千台</p>



はたらくクルマも電気自動車へ
ミニキャブ・ミーブは、
電池容量の異なる
2つのタイプをご用意しています。



実質202万円のCD 16.0kWh仕様

- ・一充電走行距離 : 150km (JC08モード)
- ・電池容量 : 16.0kWh
- ・モーター最大出力 : 30kW [41PS]
- ・充電時間 普通充電 : 7時間 (満充電)
急速充電 : 35分 (80%充電) ²
- ・価格 : 2,950,000円 ³
補助金 ¹ : 930,000円

実質173万円のCD 10.5kWh仕様

- ・一充電走行距離 : 100km (JC08モード)
- ・電池容量 : 10.5kWh
- ・モーター最大出力 : 30kW [41PS]
- ・充電時間 普通充電 : 4.5時間 (満充電)
急速充電 : 15分 (80%充電) ²
- ・価格 : 2,400,000円 ³
補助金 ¹ : 670,000円

主要生産・販売車種 <国内>

電動システム搭載車



i-MiEV(アイ・ミーブ)



MIMICAB-MiEV
(ミニキャブ・ミーブ)

軽自動車



eKワゴン



パジェロミニ

スポーティー & SUV



ギャラン フォルティス



ランサーエボリューションX



RVR



アウトランダー



パジェロ

主要生産・販売車種 <海外>

タイ (MMTh) 生産

世界戦略車
『MIRAGE (ミラージュ)』
2012年3月生産開始



トライトン/L200



パジェロスポーツ

ロシア (PCMA Rus) 生産

アウトランダー



中国 (SEM、GACCF) 生産



ランサーEX



パジェロ

米国 (MMNA) 生産

ギャラン



オランダ (NedCar) 生産

コルト



本資料に記載されている将来に関する記述を含む歴史的事実以外のすべての記述は、現時点における当社の予測、期待、目標、想定、計画、評価等を基礎として記載されているものです。また、予想数値を算定するために、一定の前提(仮定)を用いています。これらの記述または前提(仮定)については、その性質上、客観的に正確であるという保証や将来その通りに実現するという保証はありません。これらの記述または前提(仮定)が、客観的には不正確であったり、将来実現しない原因となるリスク要因や不確定要因のうち、現在想定しうる主要なものとしては、本計画の各種目標・各種施策の実現可能性、金利・為替・原油価格の変動可能性、関係法令・規則の変更可能性、日本国内外の経済・社会情勢の変化可能性等があげられます。

なお、潜在的リスクや不確定要因はこれらに限られるものではありませんので、ご留意ください。また、当社は、将来生じた事象を反映するために、本資料に記載された情報を更新する義務を負っておりません。投資に関する最終的な決定は、投資家の皆様ご自身の責任をもってご判断ください。本資料に記載されている情報に基づき投資された結果、何らかの損害が発生した場合でも、当社は責任を負いかねますので、ご了承ください。

Drive@earth



MITSUBISHI MOTORS